



大洲市 No.196 2021年 7月号 社協だより

編集・発行

社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会

〒795-0064 大洲市東大洲270-1

TEL 0893-23-0313/FAX 0893-23-0295

<http://www.ozushakyo.jp>

大洲市社協

検索



西日本豪雨の被災を乗り越え思いをつなぐ・・・

～ 東京2020オリンピック聖火リレー in大洲 ～



大洲市では、4月22日(木)に東京オリンピックの聖火リレーが実施され、老若男女、国籍を問わず、選ばれた11名の聖火ランナーが、美しい大洲の街を駆け抜けました。

やまもとひとみ

↑ 大洲市での第1走者：山本仁美さん

「平成30年7月豪雨で被災した際、地元の方々を始めとし、全国各地からたくさんの支援をいただいたことに今も心から感謝している。その思いが少しでも伝われば嬉しい」と話されました。

↓ ボランティア連絡協議会の有志が応援にかけつけてくれました。手作りマスクが独創的です！



次ページへ続く・・・

聖火リレーのトーチキス

決めポーズの意味は！

山本仁美さんの場合

4月22日の大洲市での聖火リレー第一走者となった山本仁美さんは、手話を学び始めて27年になり、手話通訳士という国家資格も取得し、現在は大洲市登録手話通訳者として活躍されています。大洲市社会福祉協議会が主催する手話奉仕員養成講座（※）においても、協力員として活動されるなど、普段からボランティアを実践されています。



① 「幸せ」・・・右手の親指と4指であごをなでおろしながら指を閉じます。



② 「届け」・・・手のひらを上に向け、胸の前から外に向けて手を広げます。

今回、聖火ランナーとして注目されているトーチキスの際に、長年携わってきた手話でポーズをとることに、「手話」に少しでも興味、関心を持つてもらえたらいいな、という思いから、手話でポーズをすることを決めました。

選んだ言葉は「幸せ届け！」。

第二走者の八代翔太さん（松山市）と息の合った手話で、全国に思いが届いたのではないだろうか。

※手話奉仕員養成講座・・・7月2日から入門編が始まります。

お問い合わせ ☎ 23-0313



悪質な事案にご注意ください！！

現在実施している“新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた方に対する「特例貸付」”に関連して第三者が手数料などを請求する事案が発生しています。

社会福祉協議会では、手続きに際して紹介料や手数料を頂くことは一切ございません！
不審な通知や電話などがあれば、警察または社会福祉協議会にご連絡ください！！

大洲市くらしの相談支援センター(電話23-0313) をご存じですか？

大洲市社会福祉協議会では、生活困窮者自立支援法の施行に伴い、大洲市から「自立相談支援事業」を受託し、相談窓口を設置して以下のような事業を実施していますので、お気軽にご相談ください。

「自立相談支援・就労支援」：生活に困っていて最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある大洲市在住の方はどなたでも相談できます。まずはお話を伺い、ご相談者と一緒に適切な解決方法を検討します。この時、相談の内容によっては適切な専門機関へつなげます。

※必要な支援が計画的に受けられるよう、相談者と一緒に課題を解決する為の計画を立てます。

※自立への目標と一緒に取り組み、情報の提供をはじめ、必要に応じハローワークや社会福祉課、障がい者基幹相談支援センター、地域包括支援センター、子育て支援課、保健センター等の関係機関との調整、相談者の希望により窓口等へ同行します。悩み事が複数ある場合や、すぐに方向性が見つからない場合は、関係機関と連携し、解決に向けた支援を行います。

「住居確保給付金」：離職等により住居を失った方、または失う恐れのある方に就労に向けた活動をする事などを条件に一定期間家賃相当額(上限有)を支給します。 ※支給には条件があります。

(その他の事業) 緊急一時食料(等)支援、生活福祉資金貸付事業、福祉サービス利用援助事業など

「社協会員制会費制度」にご協力をお願いします！

社会福祉協議会は、誰もが安心して住み続けられる地域づくりのため地域福祉を推進しています。

皆さんからお寄せいただいた会費は、お住まいの地域の地区社会福祉協議会（略して**地区社協**）に全額還元され、地域の福祉活動や在宅福祉推進活動のために使われています。会費を納入された地域の皆さんが会員です。会員制度設置の趣旨をご理解いただき、本年度も会費拠出にご協力をお願いします。あわせて、区長さん、組長さんには「集金・納入」についてご迷惑をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願いします。

地区社協とは・・・

「住民同士が支え合う地域」を目指して、地域住民自身が担い手となり様々な福祉活動を展開している任意の団体です。この団体は、各地区の社協会長、民生児童委員、在宅福祉推進員、自治会、婦人会、老人クラブ、公共施設関係者、その他地域住民グループなどが中心となって助成金や配分金を活用しながら、様々な



福祉活動に取り組んでいます。大洲市全体を左記のような17地区に分け、その全てに地区社協が設置されています。

〔肱南・久米・肱北・喜多・平・平野・南久米・菅田・大川・柳沢・新谷・三善・八多喜・上須戒・長浜・肱川・河辺の17地区〕

コロナ禍でも各地区で・・・



できる範囲で地域の方々との交流活動を実践しています。



児童一人ひとりが書いたメッセージを、配食とともにお届けし、喜んでもらいました。



↑「愛の一声活動」でうちわを配布。

「つながり」が途切れないように工夫しています！



コロナ禍で手作りはできなくても、配食サービスを実施しました。

地域ふれあい事業（会食・配食サービス）、独居高齢者のつどい、独居高齢者料理教室、など様々な事業を実施しています。事業の内容は画一的ではなく、高齢者に限らず、子どもたち、障がいを持つておられる方、赤ちゃん、子育て中のお母さんなど対象者も地域の実情に合わせて独自に展開しています。

何に使われているの？

福祉車両を寄贈して いただきました

この度、砥部町在住の方（匿名）から、大洲市社会福祉協議会へ車いす移動車を寄贈していただきました。これまで、どこに行くにも共に行動してきた車なので、不用になったとはいえ廃棄するには忍びないの
 思いと、社会貢献の一環として、平成30年7月豪雨により被災した大洲市の役に立てればとの思いから寄贈していただきました。



車椅子をそのまま乗せられて、
助手席が回転します

大切にに使わせていただきます。

まごころのおくりもの 4 月分

金銭の部（指定分）

《肱北地区社協へ》

肱北いやしの会 様 中 村

《平野地区社協へ》

永 見 淳 様 平野町

《長浜地区社協へ》

長浜新制中学校 昭和26年度
卒業生一同 代表者 米子毅 様
長浜町

物品の部

《大洲市社会福祉協議会へ》

（匿名）様 砥部町
車いす移動車 1 台

あたたかい善意をありがとうございました。
感謝をこめて掲載させていただきます。

俳句いろは

連休の真ただ中の田植かな

佐野 満寛

評

何日かの休日の中の田植。身体を休めたい思いもあり、休日だから事は捗るとの思いもあり、しかし植え上げし田には安堵充分でしょう。

何も無き部屋に歩く夏の秋

佐野 幸子

評

思わず躓いた。あたりには突き当る物もないのに。これは私も弱っております。作者は闘病中で足元しかし自分でもおかしくもありといったところでしょうか。

このところの朝の冷え込み四月冬

松本 朋子

評

季節の変わり目は、昼は晴天だったり朝、夜など冷えこんだりとか目まぐるしく天候が変わります。四月も終りかと作者は春を惜しむのです。

■このコーナーは、白岩チツ子先生に担当していただいております。どなたでも、ご応募大歓迎です。みなさまからのお便りお待ちしております。

大洲市社会福祉協議会
地域福祉係
☎ 23-0313
⑤ 23-0295



心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会 (本所)	【一般相談】毎週月・水曜日	【介護相談】毎週金曜日
	【弁護士法律相談※要電話予約】毎月第1・3火曜日（7月6日と20日）	
	【司法書士等法律相談】毎月第2・4・5火曜日および毎週木曜日	
	大洲市総合福祉センター 午前10時～午後4時（弁護士法律相談は午後3時まで）※祝日を除く	
長 浜 支 所	7月30日（金）大洲市長浜体育館 午後1時～午後4時	
肱 川 支 所	7月 5日（月）大洲市肱川公民館 午後1時30分～午後4時30分	
河 辺 支 所	7月 9日（金）大洲市河辺老人福祉センター 午前9時～正午	
問い合わせ先	本所 TEL23-0313（代表、弁護士相談予約） TEL23-5629（相談室直通） 長浜支所 TEL52-1194 肱川支所 TEL34-2312 河辺支所 TEL39-2510	